



友愛の森(二中だより)

10月



学校教育目標

二中文化を創造する生徒

学びが深まる授業の創造・認め合える学級の創造・共に高め合う学校の創造
令和6年10月1日発行

「負けを受け入れる力」と「相手をリスペクトする力」

厳しかった夏の暑さもやっと収まり、朝夕は秋の気配を感じられるようになりました。今月行われる希翔祭は、二中学生にとって特別な行事です。10日に行われる文化の部、25日に行われる運動の部に向けて、練習も本格的に行われ、どの学年どの学級も熱心に練習を重ねています。当日は、生徒たちの頑張りを参観していただけたら幸いです。

今年度も前半が終わりました。4月から半年間、大きな事故なく過ごすことができました。日々の教育活動への御協力や登下校時の見守り等、保護者や地域の皆様に感謝申し上げます。

10月の朝礼では、次のような話をしました。

良くも悪くも、**実社会には「勝ち負け」があふれています**。当然、勝ったら嬉しいし、負けたら悔しい…。だからこそ、**負けを受け入れ、勝った相手をリスペクトできたとき、そこから更なる成長があります**。私は、希翔祭という行事は、学校行事の中でも特別な行事であると思っており、この行事を通して「負けを受け入れる力」と「相手をリスペクトする力」を育ててほしいと考えています。

以前、運動会の前に、ある担任の先生が「**本番でどんな結果になっても、ミスをした人を責めることはしない**でほしい。**わざとミスをするはずがないのだから**。」と話をしていました。すると、練習で負けたことのなかったクラスに、これまでしたことのない大きなミスが生まれ、本番では3位になってしまいました。生徒たちはどうするだろうと担任が見ていたところ、一人としてミスをした友達を責める人はおらず、反対にミスをして泣いてしまった友達を励ましたそうです。そのおかげで、全員が気持ちを切り替えて、その後の応援をすることができました。ちなみに、このクラスの生徒たちは、勝っても負けても常に他のクラスをたたえる気持ちのよい拍手をしていました。こういったことは、特別な学校行事である「運動会」だからこそ、身に付けられる力なのではないかと思います。

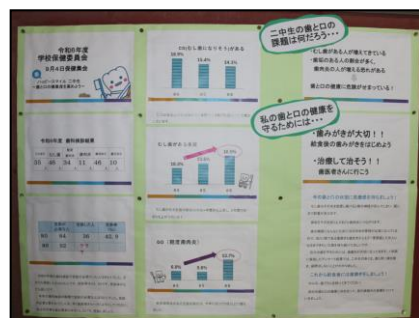
学校の中心は「学習」を通して「学力」を身に付けることですが、二中では、日常の授業と同様に学校行事を大切にし、学校だからこそ育てられる力を大切にしています。教科等の学習以外にも集団生活や学校行事を通して、たくさんの力を身に付け、成長していきましょう。

「秋」は、過ごしやすくどんなことにも挑戦しやすい季節です。「読書の秋」「スポーツの秋」「食欲の秋」等たくさんの楽しみ方があります。二中学生には「今だからできること」を見付け「夢中」になって取り組んでほしいと願っています。『生徒たちの“がんばり”がいっぱい』の実り多き秋となるよう力を入れていきたいと思います。生徒たちの心豊かな成長のため、今月も御支援、御協力をよろしく願いいたします。

自分の歯と口の健康に向き合って、昼の歯磨きの習慣を付けましょう!

9月4日、保健委員会の皆さんが朝の時間に「保健委員会報告」を行いました。今回の報告の中心は「歯の健康」です。これまでの歯科検診の結果から考えられる二中学生の歯に関する課題は「歯の健康に関する意識」です。二中学生の多くは、平日、朝と夜しか歯磨きせず、お昼にはしないという人が多かったです。

歯の健康を大切にするために、保健委員会が中心となり、給食後の歯磨き活動を始めました。歯と口の健康は、日常生活に大きな影響を及ぼします。生徒全員で歯の健康を維持していきましょう。



希翔祭 決起集会を行いました! (9月20日) 希翔祭「文化の部」10月10日 「運動の部」10月25日

希翔祭に向けて、決起集会が行われました。今年のスローガン「希翔轉結」のもと、生徒主体の行事の完成を目指し、一人一人輝ける行事になるよう頑張しましょう。

特に今年の「文化の部」は、市民文化会館が使用できないため、学校体育館での開催となり、生徒の皆さんのアイデアや工夫をする力を発揮する良い機会です。富士宮第二中学校最大の行事を、皆さんで力を合わせて盛り上げていきましょう。決起集会での「声出し」では、「青軍」が一番でした。さて、希翔祭、どの軍が最高に輝くか?!



【生徒会長 佐野菜々美さん】

今日から運動の部の練習が始まり、本格的に希翔祭の活動がスタートします。希翔祭は練習のときから始まっています。二中を象徴するこの行事を成功させるために、今日から頑張っていきましょう。

突然ですが皆さんに質問です。今年度の希翔祭スローガンを覚えていますか。今年度のスローガンは「希翔轉結」です。一学期にもお伝えしましたが、このスローガンには「皆さん一人ひとりが、希翔祭と言う物語の主役であり、それぞれの個性や想いが違えど、全員で協力し合うことで、希翔祭という素晴らしい物語を創り上げることができる」という意味が込められています。希翔祭という物語を完成させるためには全員の力が不可欠です。クラスの一員として、学年の一員として、そして二中の一員として、自分のもつ個性を最大限に発揮しながら、仲間と手を取り合い、みんなが一人のために、また一人がみんなのために活動し、全員が主役となって輝き羽ばたいていけるような希翔祭をつくりあげましょう。希翔祭は日々の活動の集大成です。これまで少しずつ築いてきたものを発揮するとともに、希翔祭を通して更に前進し、より主体的で一体感の強い二中へと繋げていきましょう。

私は希翔祭実行委員長として、「希翔轉結」というスローガンを達成し、二中最大の行事である希翔祭を皆さんの記憶に残る思い出にできるよう、企画や運営に精一杯努めていきます。最高の行事を作っていけるよう、ご協力よろしくお願いします。

【文化の部実行委員長 北美音さん】

文化の部当日まで1ヶ月をきりました。各学年、当日に向けて合唱練習を熱心に行っている姿が見られ、当日どのような合唱になるのかとても楽しみです。特に、私たち3年生は中学生最後の希翔祭文化の部に向けて、今まで学んできた知識や技術を活かし、3年間の集大成を発揮し、記憶に残る最高のものにできるよう、これからも練習に励みたいと思います。1、2年生も今年の希翔祭スローガン「希翔轉結」を意識し、一人ひとりが主体的に取り組める文化の部にしましょう。

今年の希翔祭文化の部は、市民文化会館ではなく、体育館での開催となり、これまでとは違った雰囲気になります。二中全校生徒で、受け継がれてきた二中文化を次の代にも受け継いでいけるよう、希翔祭文化の部を思い出に残る特別なものにしましょう。

【運動の部実行委員長 國本新さん】

今年の希翔祭スローガンは「希翔轉結」です。このスローガンには、二中学生全員で1から計画的に作り上げ、希翔祭の成功を目指し、二中全体が進化していくという思いが込められています。二中全体が進化していくには、希翔祭当日の行動だけではなく、準備から開催まで、全ての行動をしっかりと行っていく必要があります。数少ない係会の中で、自分の役割を覚え、当日、スローガンが達成出来るよう頑張しましょう。

1年生にとっては初めての希翔祭となります。わからないことはそのまま放置せず、2、3年生に必ず聞くようにしましょう。そして、3年生は最後の希翔祭です。悔いの残らないよう、一つ一つの行動に全力をつくし、二中の伝統ある文化を継承できるようにしましょう。

当日、赤、白、青の白熱した戦いが見られるよう、残りの少ない期間でクラス一丸となって頑張しましょう。